

平成 21 年度環境技術実証事業

山 岳 ト イ レ 技 術 セ ミ ナ ー

～技術を知ることから始まる山のトイレ対策～

環境省では、環境保全効果等についての客観的な評価が行われていないために普及が進んでいない先進的環境技術について、その環境保全効果等を第三者が客観的に実証する「環境技術実証事業」を平成 15 年度より実施しています。

このうち山岳トイレ技術分野では、山岳地などの環境保全に配慮し、洗浄水や処理水を公共用水域等に放流・排水しない「非放流式」を原則とするし尿処理技術を対象にした実証試験を実施しています。

当技術分野では、山岳トイレ技術の更なる普及を目的に、これまでに実施した実証試験結果の報告を中心に、実証申請者であるメーカーや当技術分野の検討委員との情報交換などを通じて、山岳トイレ技術への理解を深めてもらうための「山岳トイレ技術セミナー」を昨年度から開催しています。今年度は、避難小屋等が多い山域を抱える東北地方の山岳環境保全の一助とすることを目的に、標記セミナーを仙台市において下記のとおり開催することとしましたので、ご案内申し上げます。

開催概要

主 催：環境省（開催事務局：NPO法人山のECHO）

期 日：平成 21 年 12 月 11 日（金） 13:00～17:00

会 場：東京エレクトロンホール宮城 601 会議室

（地下鉄 勾当台公園駅下車 公園 2 出口 徒歩約 3 分）

〒980-0803 仙台市青葉区国分町 3-3-7 <http://www.miyagi-hall.jp/>

参加費：無料

参集範囲：地方公共団体、山小屋、地方環境事務所、山岳団体、民間企業 等

出展者：環境省、実証済技術提供者、山小屋、関係団体 等

内 容：実証試験結果の報告と技術解説、参考事例の紹介、自然公園の管理とトイレ、

展示会・情報交流会 等

■プログラム（案）■

13 : 00	開会のあいさつ
13 : 05 (15分)	1 総論・環境技術実証事業の経緯 森武昭（神奈川県工科大学 副学長/WG座長）
13 : 20	2 山岳地における実証事例報告と技術解説
(30分)	2-1 実証試験事例① 平成16年度：リンフォース/鍋割山-土壌処理 桜井敏郎（(社)神奈川県生活水保全協会 理事/WG検討員）
(30分)	2-2 実証試験事例② 岡城孝雄（(財)日本環境整備教育センター 調査研究グループグループリーダー/WG検討員）
14 : 20 (40分)	3 自然公園の管理とトイレ・野外排泄の影響 愛甲哲也（北海道大学大学院農学研究院 准教授）
15 : 00 (15分)	4 質疑応答 進行：森委員（神奈川県工科大学 副学長/WG座長） 応答：桜井委員、岡城委員、愛甲准教授
15 : 15 (40分)	5 展示見学・情報交流 出展(想定)：実証申請者、環境省ほか 相談コーナー(案)：桜井委員
15 : 55	6 事例紹介 自然環境エリアにおけるトイレ対策の取組事例
(25分)	6-1 山小屋・避難小屋のトイレ維持管理について 井田忠夫（神奈川県自然環境保全センター 副技幹/WG検討員）
(25分)	6-2 早池峰山における携帯トイレの普及について 佐々木和哉（岩手県環境生活部自然保護課 主査）
(15分)	質疑応答
17 : 00	閉会のあいさつ

■ プログラム解説 ■

1. 総論・環境技術実証事業の経緯

森 武昭（神奈川県立工科大学 副学長/WG座長）

「環境技術実証事業」および、その一分野である「山岳トイレ技術分野」について概説し、自然公園の山岳地や山麓、海浜、離島などでのトイレ整備における本事業の役割、成果や現在の取り組みを解説する。また、山岳トイレで利用する自然エネルギー利用の際の留意点等についても触れる。

2. 山岳地における実証事例報告と技術解説

桜井敏郎（（社）神奈川県生活水保全協会 理事/WG 検討員）

実証事例：（株）リンフォース

岡城孝雄（（財）日本環境整備教育センター 調査研究グループグループリーダー/WG 検討員）

実証事例の山岳・山麓について紹介。電機や水、輸送手段などで大きな制約がある自然環境地域でのトイレ整備について、技術実証事例をケーススタディーとし、山岳トイレ技術のメリットや課題等を解説します。

3. 自然公園の管理とトイレ・野外排泄の影響

愛甲 哲也（北海道大学大学院農学研究院 准教授）

山岳トイレ問題で多様な取り組みを行っている北海道の事例をベースに、自然公園の管理におけるトイレ整備の必要性、野外排泄の影響について語る。中小規模の山小屋、避難小屋でのトイレ対策のあり方についても論じる。

4. 質疑応答

事前質問用紙に本事業や山岳トイレ技術に関する質問を記述し、提出してもらい、WG検討員らから回答する。

5. 展示見学・情報交流

実証事業参加メーカー、環境省などの取り組みを展示やポスターセッションで紹介するコーナーを設け、ユーザー・メーカーの情報交換の場とする。また、WG 検討員による技術相談コーナーを設ける。

また、この時間の冒頭には出展者紹介を行う。

相談コーナー：桜井敏郎（(社)神奈川県生活水保全協会 理事/WG 検討員）

<各ブースの概要>

●申請者ブース

実証事業参加メーカー等による、パネル展示、パンフレット配布、メーカー担当者を通して、技術・製品についての情報を提供するブース。

●山小屋ブース

実証済み技術をはじめ、実際に山岳トイレ技術を導入している山小屋により、稼働状況やメンテナンスについての情報を得ることができるブース。

●環境省ブース

実証事業（山岳トイレ技術以外を含む）や、山岳環境等浄化・安全対策事業費補助（山岳トイレ整備交付金）に関する情報を提供するブース。

6. 事例紹介

■山小屋・避難小屋のトイレ維持管理について

神奈川県では、丹沢大山国定公園において、無人の避難小屋等にもトイレ整備を進めており、特に維持管理については様々な取組を行っていることから、これらについて、避難小屋の維持管理運用上の課題等も含めて紹介していただく。

井田忠夫（神奈川県自然環境保全センター 副技幹/WG 検討員）

■早池峰山における携帯トイレの普及について

岩手県では、早池峰山において、携帯トイレの普及を推進しており、ここでは、その経緯・背景、これまでの取組状況や今後の方向性と課題について、紹介していただく。

佐々木和哉（岩手県環境生活部自然保護課 主査）